

慶歯科医院スタッフで“春セミナー”を実施しました



中村文昭さん



木下晴弘さん

毎年慶歯科医院では、4月に新しく入職された方々を迎えてスタッフでの春セミナーを行っています。昨年は地震の影響で開催することができなかつたので2年越しの開催となりました。今回は有限会社クロフネカンパニー 代表取締役の中村文昭さんと株式会社アビリティレーニング代表取締役の木下晴弘さんのおふたりのセミナーDVDを見て、考察をし、チームに分かれてのディスカッションを行いました。

中村さんのお話で一番心に残った言葉は、『**4つの鉄板ルール**』です。内容はというと、①返事は0.2秒！ ②頼まれごとは試されごと！ ③できない理由を言わない！ ④今できることをやる！の4つです。中村さんは三重県ご出身ということもあり、関西弁でユーモアに経験談を交えながらお話されていました。社会人として中心にもっておくべき大切なことだなと感じました。

また「マイナスワードを言わない」という言葉も印象に残りました。言葉に出してしまうと、自分だけでなく周りの人にも影響を与えることを踏まえてプラスワードを言えるように心がけようと思います。



鳥居さんお手製
セミナーブック♪



木下さんのお話では、『**自分の身の回りに起こる出来事は自分が創りだした結果である＝自分が源泉**』であるという考え方を知り、新たな発見でした。

チーム医療をどう確立していけば患者様の満足につなげることができるかディスカッションしました。中村さんのお話は、自分対患者様のこと。木下さんのお話は、自分対スタッフのことを諭されているように感じました。この二日間で学び話し合ったことを診療でも活かすことができるよう、患者様に満足していただける慶歯科医院にしていきたいです。
歯科衛生士 大塚



グループごとに発表しました！



最後に集合写真を撮りました♪

よろしく
お願いします

今年度より副院長を務めます、
難波先生から一言いただきました！

慶歯科医院に来られた
患者様のお口の健康の為
なお一層努めてまいります

難波亜弥



たばことお口の健康



歯周病はたばこ病の1つ

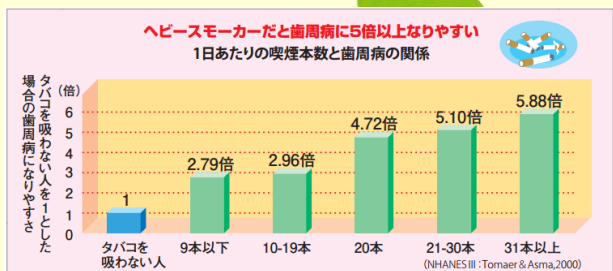
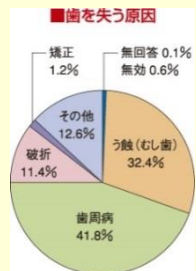
歯周炎は歯についた歯垢(プラーク)の中の歯周病菌が原因で起こる「感染症」で、不適切な生活習慣によって発症・進行していくため、「生活習慣病」のひとつでもあります。とくに喫煙習慣は、歯周病と深い関係にあります。

歯周病は
歯を失う原因の
第1位!



喫煙本数が増えるほど、歯周病で歯を失う可能性が高くなるといわれています

【参照】8020推進財団
<http://www.8020zaidan.or.jp/m/03.html>



たばこで歯周病菌に対する防御力が低下する!



▲はぐきが黒ずんでいる様子

たばこを吸うとまず直撃させるのが口の中。たばこの煙には数千もの化学物質が含まれていて、そのうちニコチンや発癌性物質などの有害物質は200とも300種類とも言われます。「ニコチン」は、一種の神経毒で血管を縮ませるので体が酸欠・栄養不足状態になります。そのため、歯ぐきの血液循環も悪くなります。

たばこは、体の防御力のバランスを崩し、歯周病を進行させる!



また、たばこの煙には「一酸化炭素」を引き起こす作用があります。一酸化炭素は、血液の中に溶け込みます。すると、十分な酸素や栄養が届かなくなった酸欠状態になるのです。運動能力はもちろん脳の動きも低下し、歯周病菌に対する免疫力が低下してしまいます。



よくあるご質問 見た目が気になる! 「ヤニ」ってなに??

ヤニとは、植物などに含まれる樹脂のことで、ねっとりとした脂っぽい感じとニオイ、色が特徴です。歯にこびりつくと歯磨きでは簡単に取り除けず、歯の表面がざらざらして歯垢が付きやすい環境になってしまうのはもちろん、いつまでもお口の中や歯肉にニコチンが染み出しつづけることになるのです。そのため、歯周病になりやすく、治りにくくなります。



▲歯の裏側にヤニがついている様子

お医者さんと一緒に禁煙はじめませんか?

禁煙をすることで「歯周病にかかりやすさ」は4割も減ることがわかっています。ですが禁煙は、自分一人ではなかなか達成できません。ニコチン依存症は病気であるということが認識されるようになり、2006年4月から一定の条件(右表参照)を満たせば健康保険等を使って禁煙治療を受けることができるようになりました。



当院では禁煙外来への紹介をご案内しております。病院のサポートを受けながら禁煙を続けてみませんか?

禁煙を続けることができれば、タバコでダメージを受けた歯も健康に近づいていきます。今からじゃ遅い...ということはありません! 喫煙生活を見直しましょう。

<p>1</p> <p>ニコチン依存症を診断するテストで</p> <p>5点以上</p>	<p>2</p> <p>1日の平均喫煙本数 × これまでの喫煙年数 = 200以上</p> <p>2016年4月より35歳未満にはこの要件がなくなりました。健康保険等による禁煙治療の対象患者さんが広がりました。</p>
<p>3</p> <p>直ちに禁煙を始めたいと思っっている</p>	<p>4</p> <p>禁煙治療を受けることに文書で同意している</p>